

中央大学経理研究所——2019年度講座案内

1. A & B フォーラム（会計と経営の研究会）

—会員の方々の知性・感性の錬磨と異業種交流をかねたフォーラム—

企業は、そのヴィジョン（理念）の実現に向けて、環境変化に順応し得る《適応性》、環境変化を洞察し得る《先見性》、新たな環境情報を創出し得る《創造性》を備えた“人財”を必要としています。

研究会は、会員・受講者が高度な「適応性・先見性・創造性」を開発・習得する契機となる《舞台》を提供し、それら能力の開発・習得の基底となる《知見》の形成を手助けすることを目指しています。

○高度な専門的情報の提供の場

研究会では、実務の第一線で活躍する職業会計人、企業実務家、大学または研究機関の研究者を講師として招き、各界・各分野の専門家としての視点から、会員・受講者の《知的好奇心》を鼓舞し、知性・感性を錬磨する幅広い領域の「知」を提供します。

会員・受講者は、講師との間で知的情報を共有するのみならず、講師との質疑応答および会員・受講者相互間での討論を通じて、日常的に抱える問題点の解決策を模索・案出したり、不透明な将来を洞察する発想や示唆を得る機会となることでしょう。

○表現行動の《舞台》と人脈づくりの《機会》の提供の場

「出ないクギは棄てられる」今の時代、研究会は、会員・受講者の“表現”行動を重視し、会員・受講者と講師の間または会員・受講者相互の間での「意見交換」の《舞台》となることを望んでいます。

「演じる」のは、講師のみならず、会員・受講者の皆さまでもあります。そのことが、様々な業種の企業等から参加する意欲的な会員・受講者の相互交流や人的ネットワーク構築の貴重な機会に繋がることと信じます。

2019年度の研究テーマ（通算第261回～第269回）

開催日	テ ー マ	講 師
261回 5/8 (水)	最新テクノロジーから見るビジネスの変革について（ブロックチェーン・暗号資産・AI・IoT） ●投資熱の冷めた後の暗号資産（仮想通貨）市場 ●新しい資金調達としてのICO、STO ●国内の法的問題 ●国際的な動向	一般社団法人 仮想通貨実務家協会 副会長 七洋株式会社 代表取締役 山本 峰由 氏
262回 6/5 (水)	基礎から学ぶ国際税務 ●国際的二重課税、二十非課税 ●富裕層 ●多国籍企業 ●B E P S ●電子商取引	大原大学院大学客員教授 税理士 川田 剛 氏
263回 7/10 (水)	相続税・贈与税の各種事業承継税制 ●非上場株式等に係る納税猶予 ●個人の事業用資産に係る納税猶予 ●小規模宅地等の特例	税理士法人松岡事務所 代表社員 松岡 章夫 氏
264回 9/11 (水)	インドの会計・税務・移転価格の最新実務2019 ●GST（物品サービス税）導入の影響 ●インド進出時の会計税務上の注意点 ●インド子会社の決算申告実務 ●インド上場企業の決算書の読み方 ●インドの移転価格課税	日印パートナーズ合同会社 業務執行社員・代表社員 伊東 賢治 氏 業務執行社員 Neeraj Bhagat 氏
265回 10/16 (水)	平成31年会社法改正と今後のコーポレートガバナンス ●株主総会資料の電子提供制度 ●役員報酬・株式報酬 ●補償契約・D&O 保険 ●社外取締役の義務付け ●株式交付	西村あさひ法律事務所 弁護士 パートナー 高木 弘明 氏
266回 11/13 (水)	アジア諸国と日本国との税務関係の動向 ●我が国における国際課税制度の改正 ●東南アジア諸国における国際課税制度の改正 ●我が国及び東南アジア諸国における税務執行の現状 ●国際的二重課税に直面する日系企業の現状 ●国際課税問題の解決に向けたアプローチ	税理士法人フェアコンサルティング 代表社員 細田 明 氏
267回 1/15 (水)	日本・税務会計形成史 ●日本の法人税の起源 ●企業会計原則と法人税法の関連 ●法人税制におけるキーパーソンの変遷 ●現行の法人税制の全文改正の前後の動向 ●会計ビックバン以降の会計基準及び国際会計基準等の影響	元中央大学商学部教授 国際課税研究所首席研究員 矢内 一好 氏
268回 2/5 (水)	近時の重要「税務判例」を学ぶ ●税務訴訟 ●税務判例 ●源泉所得税 ●役員給与 ●租税回避	青山学院大学法学部教授 木山 泰嗣 氏
269回 3/11 (水)	新収益認識基準 ●IFRS と収益認識に係る会計基準 ●公正処理基準と法人税法の目的 ●三層構造 ●引渡基準と無条件請求権説 ●法人税法22条の2の創設	中央大学商学部教授 酒井 克彦

2. 専門講座

● 趣旨と特色

今年度は、企業の経理マン、会計専門職（公認会計士、税理士）、経営管理担当者を対象とした「財務会計」、「税務会計」、「管理会計」の3つの講座を開講します。これらは、現在の経済・産業界や企業経営の現実が抱えている諸種の問題をタイムリーに採り上げる実践講座で、近年顕著に見られる会計・税務・経営管理の変化に対応する能力の培養を目的とする高品質の講座です。「財務会計講座」では「財務会計における今日的なテーマ」をキーワードに、テーマごとにそれぞれを深く掘り下げ、具体的な実務上の問題点を取り上げながら、演習的な要素も加味して受講者の皆さんの理解を深めていただきます。「税務会計講座」は、経済のグローバル化、国際会計基準の進展にともなう取引や企業会計の変革に対応した課税制度のあり方と税務および法解釈の整合性に重点をおきながら分かりやすく解説していきます。「管理会計講座」は、前期に「管理会計の基礎的理解」に重点を置いて、その内容を具体的に、しかも平易に講義します。後期は、会計の本質を理解し、知恵を身に付け、実務の世界で活かすためにはどのような視点を持てばよいか、考える力を養います。

① 財務会計講座（前期）

● 講義方針

本講座では、IFRS（国際財務報告基準）における重要論点を体系的に、プロジェクトの動向なども踏まえながら、分かりやすく解説いたします。まずIFRSを取り巻く状況や基礎となる考え方を総論として紹介し、次に概念フレームワークや財務諸表の構成について解説します。その後、各論として、ほとんどの企業で共通するテーマについて解説します。後半では初度適用の論点・留意点について解説するとともに、最後の1回は、実務界からご出席される方々を想定し、わが国の企業がIFRSを適用する場合の実務上の典型論点をご紹介します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（月／水） 午後6時40分～午後8時40分
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2019年度 財務会計講座（前期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
6/19 (水)	日本と IFRS ●日本における IFRS 導入の状況 ●IFRS 導入が我が国の企業に及ぼす影響 他国の状況	有限責任 あずさ監査法人 廣島 直樹 氏
6/24 (月)	IFRS 総論 ●IFRS の特徴と関連組織 ●IFRS を理解するにあたって 概念フレームワーク ●概念フレームワークの意義と概要 ●概念フレームワーク・プロジェクトの動向	有限責任 あずさ監査法人 廣島 直樹 氏
6/26 (水)	財務諸表と開示 ●基本財務諸表、セグメント情報、期中報告 ●開示項目 棚卸資産 ●棚卸資産	有限責任 あずさ監査法人 寺澤 智行 氏
7/1 (月)	引当金 ●引当金（資産除去債務を含む） ●偶発負債と偶発資産 法人所得税 ●当期税金 ●繰延税金	有限責任 あずさ監査法人 須賀 大介 氏
7/3 (水)	有形固定資産 ●有形固定資産 無形資産 ●無形資産（ソフトウェア、研究開発費を含む）	有限責任 あずさ監査法人 須賀 大介 氏
7/17 (水)	減損 ●資産の減損（のれんを含み、金融商品の減損を除く）	有限責任 あずさ監査法人 更家 忍 氏
7/22 (月)	従業員給付 ●短期従業員給付（有給休暇にかかる負債を含む） ●退職後給付 ●その他の長期従業員給付	有限責任 あずさ監査法人 小倉 拓美 氏
7/24 (水)	リース会計 ●リース会計（新基準の概要を中心に）	有限責任 あずさ監査法人 高木 航介 氏
7/29 (月)	IFRS の初度適用 ●初度適用に関する規定の概要 ●IFRS を初度適用するにあたっての留意点	有限責任 あずさ監査法人 丸尾 大樹 氏
7/31 (水)	適用上の論点 ●日本企業における典型的な論点（前期のテーマに関するもの）	有限責任 あずさ監査法人 高木 航介 氏

② 財務会計講座（後期）

● 講義方針

本講座では、前期に引き続き、IFRS（国際財務報告基準）における重要論点について解説します。テーマは、金融商品関連や企業結合・ジョイントアレンジメント関連など、前期よりもやや深い考察を要するものが多くなります。金融商品会計の解説は、金融機関に所属される方以外の方にも関係するものです。また、収益認識基準や日本企業における典型的な論点についての解説も行います。

最後の回では、IFRS 導入プロジェクトの全体像や主な課題、そしてプロジェクトの進め方についても解説します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（月/水） 午後6時40分～午後8時40分
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2019年度 財務会計講座（後期）

開講日	講義テーマ	講師
10/21 (月)	金融商品① ●金融商品の分類と測定 公正価値測定 ●公正価値測定	有限責任 あずさ監査法人 前田 恒太 氏
10/23 (水)	金融商品② ●金融商品の認識及び認識の中止 ●ヘッジ会計 【CPE 認定研修】	有限責任 あずさ監査法人 更家 忍 氏
10/28 (月)	金融商品③ ●金融資産の減損 外貨換算 ●外貨換算	有限責任 あずさ監査法人 加藤 雅憲 氏
10/30 (水)	企業結合 ●企業結合の会計処理 ●特殊論点（段階取得、測定期間、企業結合取引に含めるべきではない取引、等）	有限責任 あずさ監査法人 大塚 健治 氏
11/6 (水)	連結 ●連結の範囲の決定 ●会計処理（連結手続、非支配持分）	有限責任 あずさ監査法人 大塚 健治 氏

11/11 (月)	関連会社・ジョイント・アレンジメント ●関連会社の会計処理 ●ジョイント・アレンジメントの会計処理 収益認識① ●IFRSにおける収益認識（新基準）の概要	有限責任 あずさ監査法人 加藤 雅憲 氏
11/18 (月)	収益認識② ●収益認識（新基準）—適用指針を中心に 【CPE 認定研修】	有限責任 あずさ監査法人 小倉 拓美 氏
11/20 (水)	その他の論点 ●売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業 ●投資不動産 ●株式報酬	有限責任 あずさ監査法人 武藤 弘樹 氏
11/25 (月)	適用上の論点 ●日本企業における典型的な論点（主に後期のテーマに関するもの）	有限責任 あずさ監査法人 武藤 弘樹 氏
11/27 (水)	IFRS 導入プロジェクトの進め方 ●IFRS 導入プロジェクトの全体像 ●IFRS 導入の重要ポイントと課題への対応例	有限責任 あずさ監査法人 丸尾 大樹 氏

③ 税務会計基礎講座（前期）

● 講義方針

あらゆる経済取引を対象とする税務会計は、経済のグローバル化、国際化の進展に伴う取引の多様化や企業会計の変革に応じた適合性ある課税制度の構築とともに、整合性のある税務の取扱いや法解釈が期待されています。このようなニーズに応じて、会社税務担当者や会計事務所職員を対象として、税務実務の経験豊富な講師が税務会計（会社税務）の基礎を中心として理論と実践の両面から講義します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（火/木） 午後6時30分～午後8時30分
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2019年度 税務会計講座（前期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
6/18 (火)	2019年度 所得税・法人税等改正の重要項目 ●働き方改革と給与所得控除 ●人的控除を巡る議論 ●収益認識基準を巡る法人税法改正 ●引当金の改正 ●収益経理要件と損金経理要件	中央大学商学部教授 酒井 克彦
6/20 (木)	法人の課税所得の計算構造 ●企業会計上の利益と法人税法上の所得の違い ●各事業年度の所得の金額の計算 ●益金の額と損金の額 ●税務調整（決算調整・申告調整）	税理士 石井 幸子 氏
6/27 (木)	交際費等を巡る税務 ●交際費等の損金不算入制度の趣旨 ●交際費等の意義 ●交際費等の範囲と隣接する費用との区分 ●交際費等の損金不算入額の計算	税理士 石井 幸子 氏
7/2 (火)	引当金・圧縮記帳を巡る税務 ●税法上の引当金の取扱い ●引当金に係る経理処理と留意事項 ●圧縮記帳制度の意義 ●圧縮記帳の種類と取扱い ●圧縮記帳に係る経理処理と留意事項	税理士 菅原 英雄 氏
7/4 (木)	減価償却・繰延資産を巡る税務 ●減価償却制度の特色と内容 ●減価償却の具体的税務処理 ●繰延資産の意義 ●繰延資産の具体的税務処理	税理士 平川 茂 氏
7/11 (木)	国税関係帳簿書類の電子化の法的要件と申請手続きについて 税法で保存が義務付けられている帳簿や書類をデータで保存するためには電子帳簿保存法の規定により事前に申請書を提出し承認されることが必要となります。 本講座においては税法で保存が義務付けられている帳簿書類についてデータで保存する際に必要な法的要件や申請手続き、電子化を検討する際の導入手順等について解説します。	S K J 総合税理士事務所 所長・税理士 袖山 喜久造 氏
7/16 (火)	国際取引を巡る税務 ●海外進出の形態と課税関係 ●非居住者と外国法人に対する課税関係 ●外国税額控除税制度と国際的二重課税 ●タックス・ヘイブン税制と国際的租税回避問題 ●移転価格税制他	日本大学教授 平野 嘉秋 氏
7/18 (木)	消費税法概説 ●消費税法の基本構造と主要論点 ●重要な判決・裁決の検討 ●軽減税率・インボイス制度の導入とその影響 ●各国のV A T ・ G S T との比較	税理士 芹澤 光春 氏
7/25 (木)	法人税申告書の機能と作成事例 (別表四・五を中心とした当初・修正申告の基礎) ●企業利益と課税所得 ●別表四と五の基礎 ●当初申告と修正申告の基礎	千葉商科大学 商経学部専任講師 泉 絢也 氏

7/30 (火)	寄附金・貸倒損失を巡る税務 ●寄附金の意義と損金不算入制度 ●寄附金を巡るケース・スタディ ●貸倒損失の理論と実務 ●子会社等の救済と寄附金課税	税理士 菅原 英雄 氏
-------------	---	----------------

④ 税務会計応用講座（後期）

● 講義方針

我が国の経済のグローバル化や国際社会の進展、取引の多様化等に伴う会計基準の公表や企業社会のニーズに応じた会社法の改正等、税務会計を取り巻く周辺の学問領域はここ数年で大きく変革しているところです。このような状況の変化に対応した税制改正が行われた結果、税制自体が複雑化してその制度の理解が益々困難となっているのが現状です。本講座では、最近の税制改正や複雑な課税制度の内容や解釈について、税務実務の経験豊富な講師が理論と実務の両面から講義します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（火/木） 午後6時30分～午後8時30分
- 講義期間 全10回
- 会 場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2019年度 税務会計講座（後期）

開催日	講 義 テ ー マ	講 師
10/10 (木)	最近の資産評価等を巡る諸問題 ●近年の資産課税の改正内容 ●財産評価基本通達と総則6項 ●事業用小規模宅地の評価を巡る最近の課税事例の検討 ●非上場株式の評価方法を巡る諸問題 ●非上場株式の評価を巡る相続税対策と税務否認事例 ●非上場株式の移動と評価額の低減戦略 ●非上場株式の種類株式の評価方法の明確化	税理士 平川 茂 氏
10/17 (木)	役員賞与は否認されるのか？ ●会社のためか？個人のためか？役員への利益供与の境界線 ●分掌変更による役員退職金の盲点 ●過大報酬・退職金の考え方 ●その他の実務上の留意点	税理士 菅原 英雄 氏
10/24 (木)	国際課税と租税条約 ●最近の租税条約の動向 ●租税条約を巡る実務上の問題点	元中央大学商学部教授 国際課税研究所首席研究員 矢内 一好 氏

10/31 (木)	海外進出の税務 ●海外進出する前の税務 ●海外進出中の税務 ●海外から撤退する場合の税務 ●海外進出した場合の個人の税務：所得税 ●海外進出した場合の個人の税務：相続税及び贈与税	税理士 高山 政信 氏
11/7 (木)	最近の租税回避判決等の解説 ●租税回避の判決・裁決・事例等 ●節税・脱税・租税回避 ●組織再編税制又は国際課税等	千葉商科大学 商経学部専任講師 泉 絢也 氏
11/14 (木)	自己株式のみなし配当課税と相続税納税資金対策としての活用 ●自己株式の取得・処分・消却の法務、会計及び税務 ●みなし配当課税の考え方と法人税申告書への記載 ●相続税の納税資金対策としての自己株式の活用	公認会計士・税理士 棟田 裕幸 氏
11/19 (火)	組織再編税制・グループ法人税制を理解する ●そもそもグループとは何か ●組織再編税制・グループ法人税制のメリット・デメリット ●最低限おさえておくべき取扱い ●近時の租税回避事例と分析	税理士 菅原 英雄 氏
11/21 (木)	国際課税を巡る最近の課税事例の諸問題 ●BEPS等の国際税務の動向 ●国際税務に係る最近の課税事例とその問題点	元中央大学商学部教授 国際課税研究所首席研究員 矢内 一好 氏
11/26 (火)	収益計上時期を巡る税務 ●法人税法における収益に関する定め ●「収益認識に関する会計基準」の制定 ●法人税法22条の2の創設 ●法人税基本通達の対応	税理士 石井 幸子 氏
11/28 (木)	国税不服審査制度の分析 ●審査請求手続きの概要 ●裁決書の構成 ●最近の公表裁決事例の検討 ●裁決事例から読み解く着眼点 ●裁判の判決と審査請求の裁決との関連	税理士 菊米 裕 氏

⑤ 管理会計は誰のためのものか？（前期）

● 講義方針

時代や環境の変化のなかから、課題を見つけ経営のツールを産み出すことが現在の管理会計です。知識習得だけでは、即、業務において役立ちにくい面もありますが、まずは必要な基礎知識の確かな修得が不可欠です。管理会計に対する意識や基礎的知識が、業務における理解や活用力を左右し、ひいては企業経営の成否を決定することになります。自分の頭で考えることが好きな方は、是非本講座にご参加ください。

管理会計は、誰のものか？この全10回の講義を通じてあなたの答えをみつけてください。講師は全員、会計分野での講義経験を積んだプロの講師です。

- 講義時間 原則毎週1～2回（火/金）午後6時40分～午後8時40分
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2019年度 管理会計講座（前期）

開催日	講義テーマ	講師
6/7 (金)	管理会計は誰のためのものか？ ●投資家の目線、経営者の目線とは？ ●勝っている経営と負けている経営（PBR=ROE×PER） ●財務分析の視点から管理会計を捉え直す（利益目標管理の全体像） ●利益を生むのが管理会計の目的である ●管理会計の本質と勉強の仕方	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
6/11 (火)	コストマネジメント① 利益の本質をつかむ ●原価計算の基本概念 ●個別原価計算 ●総合原価計算 ●標準原価計算	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
6/14 (金)	企業の予算管理と利益管理 ●経営戦略と予算との関係 ●予算策定の基本プロセス ●予算管理とは ●利益計画とCVP分析	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/21 (金)	設備投資の意思決定 ●フリーキャッシュフロー ●貨幣の時間的価値 ●回収期間法 ●正味現在価値法	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/25 (火)	価値の算定とリスクへの対処 ●株式価値の考え方 ●企業価値の考え方 ●リスクとリターン、ポートフォリオ	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/28 (金)	コストマネジメント② 経営戦略と原価計算 ●原価計算の限界 ●経営戦略と原価計算 ●活動基準原価計算 ●活動基準原価管理	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
7/5 (金)	知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い① ●管理会計の実務上、陥りやすいワナの数々 ●経営計画の落とし穴 ●予算管理に潜む反省のワナ ●間接配賦に潜むワナ 本当に儲かっているのはどれ？	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏

7/12 (金)	<p>コストマネジメント③ コスト構造と利益の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 損益分岐点計算の基礎と応用 ● 直接原価計算 ● 部門別の業績評価 ● 原価企画と V E 	<p>(株) インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏</p>
7/23 (火)	<p>コストマネジメント④ 利益を最大化するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転資金とキャッシュマネジメント ● バランストスコアカード ● 代表的な KPI ● 制約条件の理論とスループット会計 	<p>(株) インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏</p>
7/26 (金)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い②</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理会計の実務上、陥りやすいワナの数々 ● 販売と仕入に潜むワナ ● 開発、製造（コスト削減の落とし穴等） ● 安売りとは？「値段の決め方」を再考 ● 償却の落とし穴と先行投資に注意 	<p>(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏</p>

⑥ 「商売と経営の話をしよう。」（後期）

● 講義方針

全10回の講義を通して、受講生一人ひとりが、商売人としてのマインド、嗅覚を磨くことにつながる講義とします。

一般的な管理会計の枠にとらわれず、あくまで実務の立場から「商売をするために知っておく必要があること」を本質から理解して頂きます。これからは一層自信をもって経営に挑んで下さい。

これから起業したい人、現在、経営をしている方、経営者の視点を学びたい会社員の方、商売が好きな方、参加いただいたすべての方に、経営の当事者としての視点に立った「生きる知識」を解説します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（火/金）午後6時40分～午後8時40分
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2019年度 管理会計講座（後期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
10/8 (火)	<p>会社経営において最優先されるものは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実業を営む会社の経営において、最も優先される経営の目的は何か？ ●多くの経営者は「利益」をどう考えているか？ ●会社経営とは「投資」－投資をしないで儲かる商売はありますか？ ●プリンシプル、アカウントビリティ、インテグリティー－経営管理の3つのキーワード 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
10/11 (金)	<p>会計を知らずに商売で大成した人はいない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会計の基本は「何となく分かっている」では仕事で使えない ●重要概念の定義が分かれば会計が分かったも同然 ●貸借対照表 (B/S)、損益計算書 (P/L) 基本的なフレームワークの理解 ●P/L だけ見ていたのではダメ 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
10/15 (火)	<p>経営指標は本質を学べ。知ったかぶりレベルでは経営の話は出来ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ROI（投資利益率）とは何か？ ●ROE（株主資本利益率）の本質を知っているか？－どうすれば向上できるのか？ ●ROA（総資本利益）は何%だと恥ずかしいのか？ ●株主は配当を喜ぶのか？ 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
10/18 (金)	<p>そもそも、利益はどこから生まれてくるのか？ 前編</p> <ul style="list-style-type: none"> ●儲かるには必ずワケがある ●儲かる理由を複数の切り口から検証しつつ分析する手法 ●市場原理によらない儲け方 ●口先だけの「差別化」を駆逐せよ 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
10/25 (金)	<p>そもそも、利益はどこから生まれてくるのか？ 後編</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コスト競争力を利益の源泉とする会社の戦い方 ●利益の源泉を見抜く演習を試みよう ●利益の源泉は、時々刻々と変化する生き物である 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
10/29 (火)	<p>正しい情報が上がる組織を整える、これからのマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利益を生むためのリスク管理 ●リスク管理とは先に手を打つこと ●リスク管理の目標管理は表裏一体 ●世にはびこる似非「リスク管理」の実情 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
11/1 (金)	<p>出来る人はやっている、本当のリスク管理が出来る3つの方法 前編</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リスクの発見 ●優秀な人が陥るリスクのワナ（リスクの認識） ●リスクコントロールの具体的手法（リスクの対応） 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
11/5 (火)	<p>出来る人はやっている、本当のリスク管理が出来る3つの方法 後編</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規事業、スタートアップに挑むことの意味 ●M&Aの場合のリスク管理を考えてみよう ●投資先企業のリスクと経営者のリスク管理能力を見抜く ●組織力を発揮するには 	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏

11/12 (火)	倒産企業事例分析 ●倒産の予兆を示す原因 ●考慮すべき内部要因 ●考慮すべき外部要因 ●事例演習	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
11/15 (金)	粉飾現場の実態から学ぶこと ●異常値に気づくということ ●粉飾決算の事例と手口 ●粉飾の発見方法と日常の仕事への姿勢	(株) インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏

3. 社会人簿記講座

● 講座の目的

この講座は、通信教育で日商簿記検定3級・2級の取得を目指す講座です。

① 日商簿記3級講座

● 開講期間

合格目標月 (web 視聴期間)

【Ⅰ期】2019年6月 (2019年4月～2019年6月検定日)

【Ⅱ期】2019年11月 (2019年9月～2019年11月検定日)

【Ⅲ期】2020年2月 (2019年12月～2020年2月検定日)

● カリキュラム

講義 (Input)	
ステップⅠ 講義と演習問題で知識を習得	ステップⅡ 問題演習・過去問を通じ知識を定着
第1章 簿記の基礎 第2章 現金預金 第3章 商品売買 第4章 債権・債務 第5章 手形 第6章 固定資産 第7章 資本金と税金 第8章 決算 第9章 伝票式会計	第2章 現金預金 第3章 商品売買 第4章 債権債務 第5章 手形 第6章 固定資産 第7章 資本金と税金 第8章 決算 第9章 伝票式会計 第10章 証憑 第11章 帳簿組織 第12章 応用論点 [過去問題対策] 第2問、第4問対策

その他 演習問題 (Output) / 模擬試験全10回

② 日商簿記2級講座

● 開講期間

【Ⅰ期】2019年11月（2019年4月～2019年11月検定日）

【Ⅱ期】2020年2月（2019年7月～2020年2月検定日）

【Ⅲ期】2020年6月（2019年11月～2020年6月検定日）

● カリキュラム

〈2018年度〉

講義（Input）		
ステップⅠ 講義と演習問題で知識を習得	ステップⅡ 講義と演習問題で知識を習得	ステップⅢ 講義と演習問題で知識を習得
はじめに 〔①一般簿記Ⅰ〕 序章 株式会社の簿記 第1章 現金預金 第2章 棚卸資産 第3章 債権債務 第4章 有価証券 第5章 固定資産 第6章 引当金 第7章 純資産 第8章 損益と税金 〔②工業簿記Ⅰ〕 第1章 工業簿記の基礎 第2章 個別原価計算 第3章 総合原価計算 第4章 費目別計算① 第5章 製造業の財務諸表 第6章 費目別計算② 第7章 部門別計算 第8章 標準原価計算 第9章 原価・営業量・利益関係の分析 第10章 工場会計の独立 第11章 直接原価計算	〔③一般簿記Ⅱ〕 第1章 現金預金 第2章 棚卸資産 第3章 債権債務 第4章 有価証券 第5章 固定資産 第6章 引当金 第7章 純資産 第8章 損益と税金 第9章 月次決算 〔④構造簿記Ⅰ〕 第1章 本支店会計 第2章 企業結合	〔⑤工業簿記Ⅱ〕 第12章 工業簿記【応用論点】 〔⑥一般簿記Ⅲ〕 第8章 損益と税金 第10章 一般簿記【応用論点①】 〔⑦連結会計Ⅰ〕 第1章 連結会計【連結修正仕訳】 〔⑧連結会計Ⅱ〕 第2章 連結会計【総合問題】
		ステップⅣ 講義と演習問題で知識を習得
		〔⑨一般簿記Ⅳ〕 第11章 一般簿記【応用論点②】 〔⑩連結会計Ⅲ〕 第3章 連結会計【応用論点】 〔⑪構造簿記Ⅱ〕 第3章 構造簿記【応用論点】

その他 演習問題（Output）／模擬試験全10回

4. 簿記・会計講座

〈多摩キャンパス〉

① 簿記会計講座

● 趣 旨

「簿記会計講座」は、簿記会計の基礎から応用までを学び、日商簿記検定1級と全経上級合格を目指す講座です。なお、日商簿記検定3級・2級・1級検定試験合格を単独で目指す人には、「3

級」「2級」「1級」のみ選択して受講するプランも用意しています。

② 簿記会計上級講座

● 趣 旨

「簿記会計上級講座」は、簿記会計講座の受講経験者を対象に、11月の日商簿記1級検定試験合格を目指したカリキュラムです。この講座は、簿記会計講座の学習をさらに確実に理解し、どのような問題にも対応できる応用的・実践的な学習を行い、合格を確実にしようとする講座です。なお、公認会計士の短答式試験にも対応しているため、その後公認会計士を希望する場合にも役立つ講座です。

③ 公認会計士講座

● 趣 旨

「公認会計士講座」は、最初から公認会計士試験合格を目指す講座です。基本は大学3年時での合格を目標としたカリキュラム編成になっており、各自の目標や学習計画・進度に合わせて選択できるよう、学習プランを設定しています。

④ 税理士基礎コース（簿記会計講座受講修了者対象）

● 趣 旨

「税理士基礎コース」は、基本となる会計科目（「簿記論」と「財務諸表論」）の学習に重点を置き、引き続き「租税法」を学ぶことによって税法の基礎を修得し、各自の年次計画と受験科目選択に基づく個別学習に備えるコースです。

〈Web 講座〉

● Web 簿記講座

● 趣 旨

就職活動や就職後の備えとして簿記検定対策講座を開講しています。対象は中央大学の学生とし、日商簿記検定3級・2級の取得を目指す講座です。講義はWebにて配信するので通学は不要です。パソコン、スマホ、タブレットで受講可能です。

〈簿記・会計講座担当講師〉

小島 一富士、岡本 進、上出 亮、関口 高弘、古田 満正、門田 隆太郎、吉田 和広、横田 昌彦

中央大学出身者公認会計士第二次試験合格者数（2006年度公認会計士試験制度改正前）

年度	1949	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960
人数	8	17	16	8	20	20	21	10	25	30	32	32
年度	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972
人数	37	36	26	39	42	47	53	38	40	29	51	47
年度	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
人数	16	62	65	24	45	23	25	29	22	15	20	29
年度	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
人数	22	42	37	38	38	46	50	40	47	29	41	39
年度	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005			
人数	38	34	47	60	59	94	76	76	108			

経理研究所出身者公認会計士試験合格者数（2006年度公認会計士試験制度改正後）

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数	43	119	134	124	119	71	86	72	75	51	79	60
年度	2018	2019										
人数	71	56										

* 上記合格者数には、旧第2次試験合格者の短答式試験みなし合格者は含まれません。